

# RVシリーズルータでRouter Information Protocol Next Generation(RIPng)を有効にする

## 目的

Router Information Protocol Next Generation(RIPng)は、ディスタンスベクター(D-V)アルゴリズムに基づくルーティングプロトコルです。Routing Information Protocol (RIP; ルーティング情報プロトコル)と同様に、RIPngはホップカウントを使用して宛先までの距離を測定します。ルータから直接接続されたネットワークへのホップカウントは0です。直接接続された2台のルータ間のホップカウントは1です。ホップカウントが16以上の場合、宛先ネットワークホストは到達不能と見なされます。RIPngは通常、Internet Protocol version 6(IPv6)ネットワークングに使用され、RIPはIPv4に使用されます。設定の容易さはRIPngの主な利点です。デバイスでは、RIPngはデフォルトで無効になっています。

この記事では、IPv6をサポートするRVシリーズルータでRIPngを有効にする方法について説明します。IPv6をサポートしないデバイスには適用されません。

## 該当するデバイス

- RVシリーズ : RV130、RV130W、RV132W、RV134W

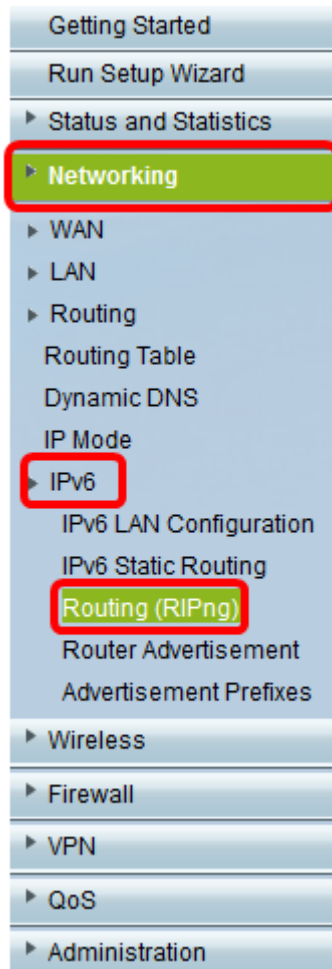
## [Software Version]

- 1.0.3.16 — RV130、RV130W
- 1.0.0.17 — RV132W
- 1.0.0.21:RV134W

## RIPngの有効化

ステップ1 : ルータのWebベースユーティリティにログインし、[Networking] > [IPv6] > [Routing (RIPng)] を選択します。

注 : この記事の画像は、RV134W VDSL2ルータから取得したものです。オプションは、デバイスのモデルによって異なります。



ステップ2:[Enable] オプションボタンをクリックして、RIPngをアクティブにします。

Index	Interface	Enable RIPng	Passive Interface
0	VLAN1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1	DSL_ATM_WAN_0_33_R	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ETH_WAN_R	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ステップ3:RV132W/RV134Wの[RIP Members]テーブルで、リストから[Index and Interface]を選択し、[Enable RIPng and Passive Interface]の対応するチェックボックスをオンにします。

注：この例では、RV132W/RV134WのVLAN 1に対してRIPngが有効になっています。また、パッシブインターフェイスとして設定されているため、ルーティングアップデートを送信しません。これにより、帯域幅の使用量とリソースが減少し、セキュリティリスクが軽減されます。

### Routing (RIPng)

**RIPng Configuration**

RIPng:  Enable  Disable

**RIP Members**

Index	Interface	Enable RIPng	Passive Interface
0	VLAN1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1	DSL_ATM_WAN_0_33_R	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ETH_WAN_R	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Save Cancel

注：RV130およびRV130Wルータでは、次に示すように[RIP Members]を選択できません。RV130WおよびRV130でRIPngを有効にするには、このチェックボックスをオンにして、この機能を無効にするには、このチェックボックスをオフにします。この例では、RIPngが有効になっています。

### Routing (RIPng)

**RIPng Configuration**

RIPng:  Enable

Save Cancel

ステップ4:[Save] をクリックします。

### Routing (RIPng)

**RIPng Configuration**

RIPng:  Enable  Disable

**RIP Members**

Index	Interface	Enable RIPng	Passive Interface
0	VLAN1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1	DSL_ATM_WAN_0_33_R	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ETH_WAN_R	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Save Cancel

これで、RVシリーズルータでRIPngが有効になったはずです。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。